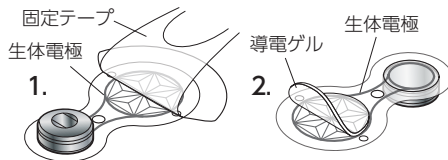


お手入れと保管(メンテナンス)

1. 生体電極と固定テープを剥がします。
※時間が経過すると生体電極側に固定テープの粘着材が残り不衛生の原因になります。
2. 生体電極と導電ゲルを分けてそれぞれを洗います。
※導電ゲルは、汗等の水分を含むと膨張し滑りやすくなっていますので注意してください。



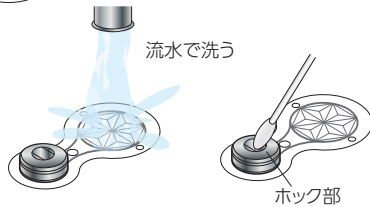
■生体電極の洗い方

流水で汗や皮脂を洗い流してください。

※洗剤や洗濯機で洗わないでください。

※拭取り時に強く擦ったりすると生体電極が破損します。

洗浄後、タオル等で軽く押さえるようにして水分を取り除きます。ホック部を綿棒等で軽く拭取ってください。



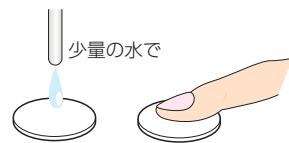
■導電ゲルの洗い方

少量の水で優しく指で撫でるように表面の皮脂や汚れを落としてください。

※流水で洗うと導電ゲルの成分が洗い流され、性能低下します。

※導電ゲルは、拭取り等は不要です。

※導電ゲルは、雑菌が繁殖しない成分が含まれていますので、高衛生を保てます。



■保管

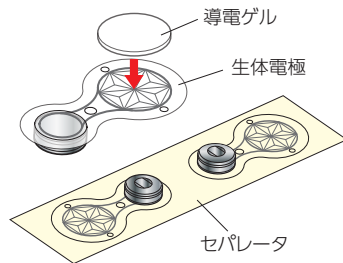
別々に洗浄した生体電極と導電ゲルは、元の状態に戻し、付属しているセパレータで保管してください。

※長時間使用しない場合は、ビニール袋等に入れて保管してください。

※導電ゲルは、定期的な交換をお勧めします。

※導電ゲルの表面が乾いた状態または長い期間使用していない場合、使用直後に心拍数を表示しない場合があります。この場合、汗等で導電ゲルの性能が戻り、安定的に心拍数を表示するようになります。

※レースやイベントなど、使用直後から正確な心拍数を必要場合は、新しい導電ゲルの使用をお勧め致します。また、レースの場合はウォームアップ前に装着してください。



保証・アフターサービス

■保証

- 本保証は、該当する地域、国の法規が定める消費者の法的権利、または販売／購入の際に交わされる契約から発生する販売者に対する消費者の権利を侵害するものではありません。
- この機器の最初の顧客／購入者に対して、購入日から1年間素材または仕上がりにおいて製品に瑕疵がないことを保証します。
- 領収書は製品の最初の購入を証明します。
- 本保証は、通常の摩滅、誤使用、不正使用、事故または注意事項の無視、不適切なメンテナンス、商業目的の使用による損害、ケース／ディスプレイ、およびひび割れ、破損、またはひっかき傷には適用されません。
- 本保証は、製品から発生する、または製品に関連する直接的／間接的または事故による、結果的または特別な損害、損失、費用には適用されません。
- 製品を中古で購入した場合は、保証を受けることはできません。
- 保証期間中は、製品を購入された販売店を通じて修理および交換いたします。
- 製品に関する保証は、製品が最初に市販された国に限定されます。

■免責条項

- 本マニュアルのデータは情報を提供することのみを目的としています。顧客への通達なしで、製品を改良する可能性があります。また、商品開発が理由で、本マニュアルに記載されている製品と使用する製品が異なる場合があります。
- 本マニュアルあるいは本書に記載されている製品の表明あるいは保証をいたしません。
- 本マニュアルあるいは本書に記載されている製品の直接的／間接的あるいは事故による、結果的あるいは特別な行為による破損、故障は保証いたしません。

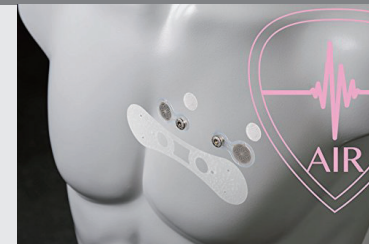
■本製品は、出願中の特許によって保護されています。

PROKIDAI
KYOTO KEIHANNA

HEART RATE SENSOR PAD AIR for CYCLIST

取扱説明書

このたびは「HEART RATE SENSOR PAD AIR for CYCLIST」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになられたあとも大切に保管してください。



使用上の注意

■装着に関しての注意

- 本製品は、サイクリスト専用商品です。サイクリストの身体の動きに対応した商品ですので、他のスポーツに使用すると生体電極の脱落の可能性や安定した心拍数の計測が行えない可能性があります。
- パウダー入りのボディーソープなどを使用した場合、肌への装着力が著しく低下します。
- 汗や皮脂が残っていると装着力が著しく低下します。装着前に汗や皮脂を十分に拭き取ってください。
- 連日、同じ場所への装着は、避けてください。発赤が治まっていない状態の箇所に繰り返し装着すると肌の黒ずみの原因になります。
- 装着後、胸部を大きくのけぞるストレッチや体操をすると固定テープが剥がれる恐れがあります。

■アレルギーに関する注意

- 本品の使用により発疹、発赤、かゆみなどの症状が現れた場合は、使用を中止し医師または薬剤師にご相談ください。
- 皮膚刺激の発生原因になりますので長時間貼付したり急激にはがしたりしないでください。

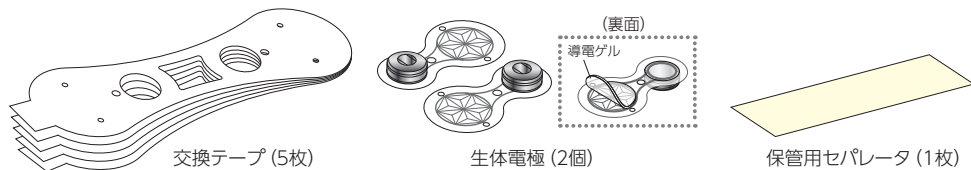
■保管・管理

- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光を避け、なるべく涼しいところに保管してください。
- 品質保持期限を過ぎたものは使用しないでください。
- 一度使用した固定用テープは再度使用しないでください。
- 生体電極は、洗濯機・乾燥機・アイロン・高温のドライヤー等で洗浄や乾燥を行わないでください。また、ドライクリーニングや塩素系洗剤の使用もしないでください。
- 生体電極の取り扱いを行う際に引き伸ばしたり激しく曲げたりしないでください。
- 電極部に使用している導電ゲルは、定期的な交換をお願いいたします。アレルギーの原因になります。
- 心拍センサー取り付け部のホック部に錆等が発生した場合は、再利用しないでください。アレルギーの原因になります。

■注意

- 本製品は、専門的または産業的な正確さを必要とする環境測定値を得るために使用することはできません。
- トレーニング中の電磁気による干渉とトレーニング装置の電気機器の電磁気での誤作動が起こる可能性があります。またサイクルコンピュータとトレーニング装置を併用してトレーニングすると干渉が起きる可能性があります。
- 異常な読み取り値または誤作動を避けるために、誤動作の原因になる可能性のある機器からできるだけ離してください。
- LEDディスプレイ、モータ、および電気ブレーキなどの、電子または電気コンポーネントとともにトレーニング装置を使用すると、干渉し心拍数の表示がなくなる又は、ストレイ信号が発生する場合があります。この問題を解決するには、以下をお試しください。
 1. 心拍センサーを生体電極から取り外し、トレーニング装置を通常通り使用します。
 2. ディスプレイにストレイ信号の読み取り値が表示されないか、ハートの記号が点滅しなくなるエリアが見つかるまで、サイクルコンピュータを移動させます。
 3. 心拍センサーを胸に戻し、サイクルコンピュータをできるだけこの干渉がないエリアに維持します。
- サイクルコンピュータがトレーニング装置とともに動作しない場合は、電氣的なノイズが多すぎるため、無線で心拍数の測定ができない可能性があります。

各部の名称と付属品



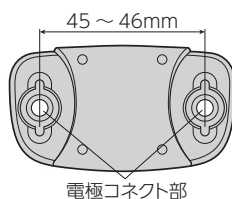
心拍センサーの準備

対応メーカー機種 (心拍センサー) : Garmin・Polar・Cateye・Sigma

下記操作は使用前に必ず行ってください。心拍センサーが上手く動作しない場合があります。

- 心拍センサー (電極コネクト部) のピッチサイズを確認します。
- 心拍センサーを初期化します。
※詳しくは、心拍センサーに付属の説明書をご確認ください。
①心拍センサーの電池を取り出し、極性 (+/-) を逆さまに入れ、約30秒待ちます。
②再度、電池を取り出し正しい向きで入れ直します。
- 心拍センサーの再ペアリングを行ってください。
※詳しくは、心拍センサーに付属の説明書をご確認ください。

心拍センサー (例)

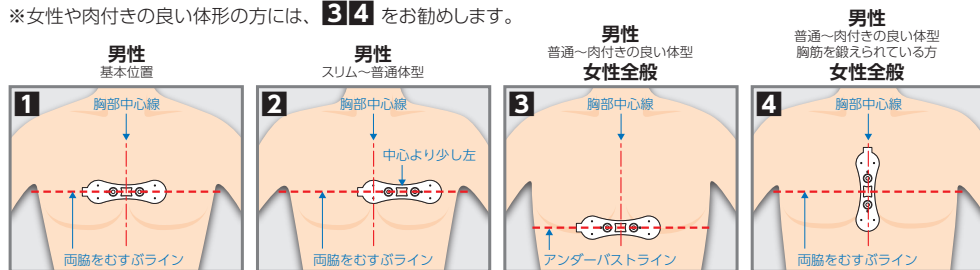


心拍センサーの取付け位置

性別や体形またはスポーツジャンルにより、取付け位置を変えるとより安定した生体情報を集積できます。

※ランニングのような腕を左右に振るスポーツには、**4**をお勧めします。

※女性や肉付きの良い体形の方には、**3****4**をお勧めします。



装着のしかた

装着する前に

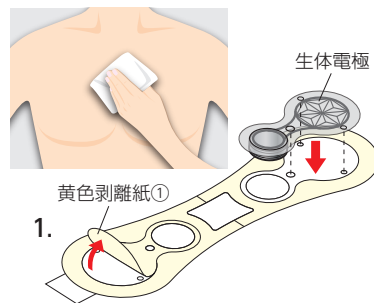
電極貼り付け位置の肌をウェットティッシュ等で汗や皮脂を綺麗に拭き取ってください。

※体毛が多い方は体毛の処理が必要です。
※電極貼り付け位置が汚れていたり、体毛で電極が剥がれたり、記録が不安定になります。

- 黄色剥離紙①を剥がし、生体電極を装着します。(2か所)

※ホックの向きに注意。
(裏面: 黄色剥離紙、表面: 白色剥離紙)

※生体電極の穴と固定テープの穴を合わせながら装着すると容易に装着できます。



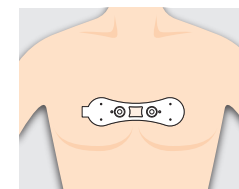
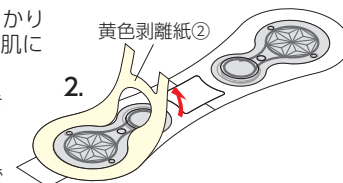
- 黄色剥離紙②を剥がし、生体電極と固定テープを胸部にしっかりと貼りつけます。そのままの状態固定テープがしっかりと肌と貼りつくまで待ちます。(1～2分間【冬場3～4分】)

※ランニングのような腕を左右に振るスポーツ、また、女性や肉付きの良い体形の方は縦に貼ることをお勧めします。
(心拍センサーの取付け位置**4**)

※貼付け部の肌が十分に乾燥している状態にしてください。汗などで濡れている状態で貼り付けを行うと、運動中に脱落するおそれがあります。

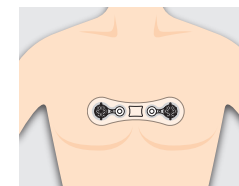
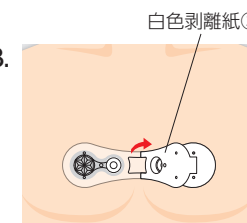
※電極部の導電ゲルが電極部に正しく装着されていることを確認してください

※性別や体形またはスポーツジャンルにより、取付け位置を変えるとより安定した生体情報を集積できます。

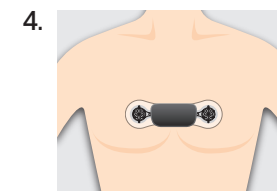


- 白色剥離紙③をタブ部から剥がします。

※固定テープの貼り付きが不十分な状態で白色剥離紙③を剥がすと固定テープと一緒に剥がれてしまいます。



- 再度、固定用テープを手で身体に押し付け胸部にしっかりと貼りつけてから、ホックに心拍センサーを装着します。



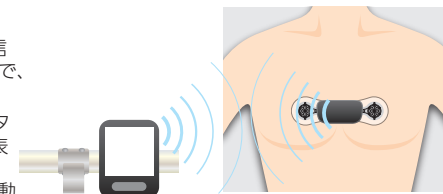
- サイクルコンピューター等の受信機の電源を入れ受信機と心拍センサーのキャリブレーションを15分程度行ってから運動を開始してください。

キャリブレーションについて

心拍センサーの調製 (キャリブレーション)

※心拍センサーを体に装着後、サイクルコンピューター等の受信機の電源を入れると自動でキャリブレーションが開始しますので、特別な操作は必要ありません。

※心拍センサーによっては、キャリブレーションに振動が必要なタイプがあり、運動開始後5～10分間程度、正確な心拍数が表示されない場合があります。
キャリブレーション時間が不十分な状態で運動を開始すると運動開始後5～10分間程度、正確な心拍数が表示されない場合があります。



取り外しかた

- 生体電極のホックの根元を押さえながら心拍センサーを外します。

※慎重に取り外してください。電極を破損する可能性があります。

- 胸部に貼りつけた電極を外します。

※ホック側から外すことで肌への負担を少なくすることができます。

